



# R4-R6 地域おこし協力隊 活動報告書

吉見町地域おこし協力隊 中村 絢

活動期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日

1



## 活動概要

- 地域 埼玉県吉見町
- 活動期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- 活動内容 ①空き家の利活用（古民家）  
②地産地消への取組（日本酒製造）
- 目標 任期後も継続できるような協力隊活動に  
なるようにしたい。



## なぜ地域おこし協力隊 になったのか

15年ほど東京で住み仕事も続けてきた時にコロナ禍になり、一旦仕事の仕方や自身の生活について考えるようになりました。

ハードな仕事をしてきて、年齢と共に仕事の仕方や考え方も変わっていき、「田舎暮らしをしてみたい！」という気持ちがありました。都内での仕事もやりつつ、「田舎暮らし・2拠点生活」など出来る場所を探していたところ、吉見町を見つけ応募しました。

都内から約1時間で来れる場所として、程よく田舎で私にとってはとても理想的な場所でした。





## 主な活動内容

R4~R6

R4 さくらまつり

# 1年目（R4）

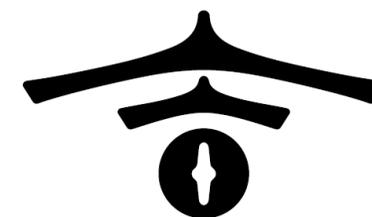
## 【主な内容】

2拠点生活（東京都⇔吉見町）をしながら、吉見町のことを知るために地域の方々と様々な交流をさせていただきました。就任すぐに出会った古民家を所有していたオーナーさんの庭を活用し、皆さんと一緒に初めて夏野菜を栽培しました。

夏には関東近郊の友人が吉見町に遊びに来たので、野菜収穫体験やいちご狩りを、冬には味噌作りを経験させていただきました。

また、町の町制施行50周年の記念すべき年であったため、実行委員会に参加させていただき、町民ファッションショーを開催しました。

東京と吉見町の2拠点生活を体験して、都会と田舎生活メリハリのある新鮮な体験が出来た1年目でした。



コンパみ  
吉見町協力隊

## 2年目（R5）



### 【主な内容】

古民家の利活用を行政と進めていく中で、なかなか私の思うような活動ができないことを知る毎日でした。

「できることから始めよう！」ということで、築100年分の空き家であった古民家内の片付けを開始し、大量の廃棄物がある中で地域の方々や知り合いにもお手伝いに来ていただきました。食器や家具、その他時代を感じるものたちは廃棄するのに勿体ないため、フリーマーケットや吉見まつりで出品しほぼ完売しました。

もう一つの取り組みである「地産地消」については、吉見町産の食用米で何か出来ないかと行政に相談させていただき、食用米を使用した日本酒を製造することを決めました。

協力して頂いた帝松さんの柔軟な考え方のお陰で、町内の農家さんに直談判したりと悪戦苦闘しましたが、来年度の日本酒販売に向けて準備を進めていきました。

吉見町に新たな灯を灯すようなイメージで「灯」という名前に決めました。

## 3年目（R6）



### 【主な内容】

5月に製造した日本酒販売がスタートしました。

当初の予定していた本数（400本/大小2種）を大幅に超えて、累計1,000本以上の日本酒を販売することができ、感謝申し上げます。購入された地域の方から「味も美味しく、スッキリとして飲みやすい」など好評な感想を多くいただき大成功だったと思います。お酒を飲めない人には味わえないですが、吉見のお土産などにも使って頂けたのかなと思います。

また古民家に興味を持ってくれる人たちが多く集まってきて、活動場所として理想像が見えた1年でもありました。改修工事など着々と動き始め、ご近所さんや知り合いなどにお披露目会と称して「古民家見学」や簡単なイベントを開催しました。

現在進行形で今後も活動しながら、町内をはじめ都内からの人たちが遊びにきて、ゆっくりとした時間が流れる古民家で息抜き出来る場所になるのが理想です。



## その他の活動（吉見町）

### ① 味噌作り体験

○毎年、吉見町で作っている味噌作り取材と共に参加させて頂き、友人等に配り大好評でした。

### ② jampocket

○チーム名作成やロゴ作りなど、吉見町を盛り上げるために活動させていただきました。



## 3年間を振り返って

### 何もないと言われる場所で暮らすことの贅沢さ

関東近郊に住む友人が遊びにきてくれて、「いちご狩り」や「田植え」など吉見町ならではの体験をすることで、皆吉見町が好きになっていました。これは私が吉見町に来なければ、知らなかったと思います。

私も3年前にこの「吉見町」を知った人間であり、都内から1時間のところに良い意味で何もないゆったりとした時間が流れる場所を見つけ、皆さんにも知ってもらいたいなという気持ちになりました。「何もない」ということがいかに贅沢なことか、住んでいる人には当たり前で慣れすぎて感じないと思います。東京や都会で生活する人間は、もっと自然に帰る時間が必ず必要だと感じています。そんな場所として、吉見町はとても良い距離感で最適な場所の一つだと思います。

吉見町に来て空き家を借りて住むことになり、畑もついていて自分で畑作業を体験しました。東京にも住みながら2拠点生活という贅沢な活動をさせて頂いたこと、感謝しています。

3年間の活動は卒隊後に繋がる3年でもあります。

私は今後、この吉見町で畑作りなどの活動を続けて行き、これからも吉見町との関係性を続けていくことを目標にしていければと思います。

任期終了後は古民家の敷地内の畑を借りて、人が遊びに来れる農園を作ろうと今作成中です。



ありがとうございました

【SNSなど

【X】@ayamenaka55886739

【note】note.com/ayameron359

【Instagram】ayame9595